

PIERIA 音楽イタリア語 基礎講座 ステップ1 第3課

3.1. 不定冠詞

不定冠詞は、ひとまず英語の **a, an** のようなものと考えておいてください。

つまり、聞き手に話し手の指すものが了解されていないときに、その名詞の前につける冠詞です。イタリア語の不定冠詞の形態は次のとおりです。形から想像されるように、もともとは数詞の「1」が弱まってできた語です。

男性	単子音で始まる名詞の前 (標準形)	un	un ragazzo (男の子)
	母音で始まる名詞の前	un	un amico (友達)
	連続した子音で始まる名詞の前*	uno	uno studente (学生)
女性	子音で始まる名詞の前 (標準形)	una	una ragazza (女の子)
	母音で始まる名詞の前	un'	un'amica (女友達)

音楽用語で例を見てみましょう。

un corno (ホルン)	un flauto (フルート)
un ottavino (ピッコロ)	un inno (賛歌)
uno strumento (楽器)	uno zimbalon (ダルマシー)
una viola (ヴィオラ)	una messa (ミサ曲)
un'arpa (ハープ)	un'introduzione (序奏)

* これらの原理は定冠詞のところでお話ししたことと同様です。un の後に2つの子音で始まる名詞が来ると、3つの子音を連続して発音しなければならず、これが読みくいために、「古形」の uno が用いられます。

著名な人物の名前がその作品を表すことがあります。その場合、不定冠詞を付けることが可能です。

un Puccini (プッチーニのある1曲)

3.2. 冠詞の機能

定冠詞と不定冠詞の機能を大ざっぱに説明すると、下記のようになります。

定冠詞 (il, la)	話者が「聞き手は特定できる」が考えている物
不定冠詞 (un, una)	話者が「聞き手は特定できない」と考えている物

これを日本語で考えてみましょう。

昨日 ある楽器屋 に行ったのだが、品ぞろえ はいいし、接客 は丁寧だしとても気に入った。店主 は昔フィレンツェで音楽を学んでいたそうだ。

この場合、ある楽器屋 は聞き手にとってイメージされていないので不定冠詞が付きます。品揃え、接客、店主 は「その楽器屋の」というイメージができあがっていますから、定冠詞がつくわけです。(このようなイメージの固定を「特定化」と呼びます。)

わかりにくい場合は、ひとまず英語の定冠詞 **the** に対応するのが **il**、不定冠詞 **a** に対応するのが **un** だと考えておくとよいでしょう。実際には、英語に比べて定冠詞を積極的に用いるなどの違いがあるので、例文を読みながら観察を続けてください。

(略)

練習問題 (3)

I 次の単語の意味を調べ、不定冠詞と定冠詞を書きなさい。

		意味	不定冠詞	定冠詞
1	mazurca			
2	poema			

(略)

II 次のイタリア語を日本語に訳しなさい。

- 1) Ecco una grancassa.
- 2) Il bocchino è sotto il trombone.

(略)

III 伊作文

- 1) ほら、アップライトピアノ(pianoforte verticale)の上に1本のフルート(flauto)がある。

(略)

【コラム】 速度標語 *indicazioni agogiche* と強弱記号 *segni dinamici*

まず速度標語を挙げてみましょう。速度(テンポ) *tempo* はまさにイタリア語そのもので、万国共通の語彙になっています。因みに、*indicazione* は「表示、指示」の意味の名詞、*agogico* は「速度に関する」という意味の形容詞です。

♪ *Accelerando* (だんだん速く): この用語は *accelerare* (速度を速める) という動詞のジェルンディオ(動詞を副詞として使いたいときの形: 日本語の連用形「テ」形と考えるとわかりやすい)の形です。後で勉強しますが、*-are* 型の動詞のジェルンディオは *-ando* という語尾をとります。このイタリア語の動詞は英語に伝わり、*accelerate* という動詞になりました。この動作主形 *accelerator* が車の「アクセル」ですよ。

(略)